

## 地域での活動

### 小学校ゲストティーチャー

#### キャリア教育

6月10日(土)、小学校で行われた「キャリア教育」の授業に、6名のゲストティーチャーの一人として参加しました(子供達は、希望する3名の話に順に聞きます)。単元のねらいは「社会で働くときに大切なことを考え、今自分にできることは何かを見つけること」とのことでしたので、仕事の内容を説明するとともに、「仕事をする上で大切にしていること」等をお話しました。



例年は「卒業間近の6年生」が対象でしたが、今回は「進級したばかりの6年生」が対象。子供達の発達段階を意識しながらお話をしました。子供達が多様な大人に触れ、様々な考え方に接することが出来るこうした授業は、まさに地

**域と連携した教育**だと思えます。

地域の大人のひとりとして、今後とも積極的に参加するとともに、授業参加を通して得た学校現場の状況を、杉並区の教育力向上に活かしていきたいと思えます。



#### 運動会

5月15日(月)及び17日(水)、区立小学校にて運動会表現種目のゲストティーチャーとして、授業に参加しました。今年も対象は5年生。運動会当日も“掛け声”で参加しましたが、皆「楽しく、大きく、一生懸命」に、そして、「心をひとつに」して踊ってくれました。



毎年授業に参加させていただくことで、その時々の子供達の様子を現場で実感することが出来ます。

今後も、様々な形で子供達と触れ合う中で、**区立学校のより良いあり方**を考えていきたいと思えます。

### 防災活動

5月15日(月)、杉並防火防災協会の総会に、29日(月)、同高井戸地区連合支部の総会に、所属する防災会の会長として出席しました。また、5月20日(土)には、近隣防災会の防災訓練に、お手伝いとして参加しました。



いざという時に、**地域での防災活動に少しでも役に立つよう**、消防署等とも連携をとりながら、防災関連活動にも引き続き取り組んでいきたいと思えます。

### 地域子育てネットワーク

6月23日(金)、地域子育てネットワーク事業の地域連絡会に、主催する小学校放課後子ども教室の代表として参加しました。



地域で子供達のために活動する大人が集まり、お互いの連携をより密にすることは、「**地域ぐるみで子供達を見守り、育てる環境づくり**」を高めていくうえで有効だと思えます。今後も可能な限り参加し、区政にも反映していきたいと思えます。

**次回の定例区議会(令和5年第3回定例会)は、9月開会予定です。**

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX:03-3247-8660 もしくは E-Mail:ikuma@gakushikai.jp



## 杉並区議会議員(無所属) 岩田いくま 区政報告

第79号(令和5年夏号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103  
TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp  
HP;http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。令和5年5月より6期目。  
趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。  
家族:妻、長男(20歳)、長女(17歳)、次男(15歳)。

- P.1 選挙結果/所属会派/所属委員会について
- P.2 議会での活動について
- P.3 区政の動きについて
- P.4 地域での活動について

4月に行われた区議会議員選挙におきまして、皆様方よりお力添えを頂きましたこと、心からの感謝を申し上げます。

皆様からいただいた新たな四年間、杉並区をより良くするために取組んでまいります。引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

### 杉並区議会議員選挙 投開票結果

#### <主な特徴>

- 投票率が4.19%Up(今回の投票率:43.66%)
- 現職が12名落選、新人が15名当選
- 女性議員が多数に(女性24、男性23、性別非公表1)

#### <岩田いくまの得票結果>

- 得票数:2,506票(前回:2,889票)
  - 得票順位:44位(前回:27位)
- (参考)立候補者数:69名、当選者数:48名



投票率が上がった中、私自身の得票数が減少したことに対しては、結果を真摯に受け止めたと思えます。

一方で、**現職が12名落選**するという厳しい状況の中、引き続き議会で活動する場を頂いたことをしっかりと受け止め、より良い杉並区の実現のために、議会での活動や地域での活動に引き続き取り組んでまいりたいと思えます。

### 所属会派

**区長の区政運営への対応**や政策の方向性等を私なりに検討し、私を含む10名の議員で「**自民党・無所属杉並区議団**」を結成しました。また、**会派の副幹事長**に就任しました。なお、これは杉並区議会内での活動(所属会派)であり、政党に関しては、私は引き続き**無所属**です。



右から4人目が、私:岩田いくま

### 所属委員会

今後1年間、保健福祉委員会、DX・議会改革に関する特別委員会(副委員長)及び議会運営委員会に所属して活動することとなりました。

## 議会での活動:保健福祉委員会

6月7日(水)、保健福祉委員会が開催され、2本の議案審査と1件の陳情審査を行いました。

### 議案第39号:杉並区子どもの権利擁護に関する審議会条例

<条例制定の背景>

- ◆ 令和4年度を始期とする「杉並区基本構想」において、子ども分野では「**すべての子どもが、自分らしく生きていくことができるまち**」を将来像として掲げている
- ◆ 令和5年4月に「こども基本法」が施行
- ◆ 令和8年度に区立児童相談所を開設(予定)
- ◆ 区長の選挙公約(「子どもの権利条例」の制定)

杉並区の子どもの権利の擁護に係る施策に関し必要な事項を調査審議するため、区長の附属機関として審議会を設置(条例第1条より)



杉並区基本構想やこども基本法の施行等を踏まえ、子どもの権利擁護の推進に向け、審議会を設置して議論を深めることは理解できます。

一方で、子どもの権利擁護推進のための、ひとつの**手段にすぎない「条例制定」が目的化**している感も強く、この点については危惧を抱いております。

- ▶ 「区民福祉の向上のための取組」と、「区長公約実現のための取組」とを混同しないこと
- ▶ 「区長のための区政」ではなく、「区民のための区政」になっているかをしっかりと意識して取組むよう求めたうえで、議案には賛成しました。

### 議案第40号:杉並区立保育所及び小規模保育事業所条例の一部を改正する条例

<議案の内容>

- 指定管理者の指定期間が満了する区立上高井戸保育園
- 区立施設再編整備計画に基づき移転する区立永福北保育園及び区立天沼保育園を、民営化するための議案



より良い区政の実現のためには、**民間活力を積極的に活用することが大切**であると私自身は考えており、民営化に向けて画的に準備も進められてきておりましたので、賛成しました。



### 「てをつなぐ育成会」総会

5月26日(金)、杉並区手をつなぐ育成会<sup>(\*)2</sup>の総会に出席しました。様々な方のお声を直接お聴きしながら、基本構想の将来像のひとつである「**すべての人が認め合い、支え・支えられながら共生するまち**」を目指して、今後も取り組んでいきたいと思っております。

(\*)2)知的障害児・者の家族と支援者の会



### 5陳情第20号:ひきこもり当事者及び家族支援に関する陳情

<陳情の概要>

- ひきこもり相談ワンストップ窓口の創設
- ひきこもり当事者が集える安心安全な居場所の確保等、4項目の実現を求める陳情



審査に当たっては、陳情者から補足説明を伺いました。杉並区においても、

- これまでも一定の取組を行ってきていること(「くらしのサポートステーション」が、ひきこもりの相談窓口であることをHPに明記等)
- さらなる充実に向けて、施策の検討をしていること(専用電話回線を設ける等、専門の相談体制構築の検討等)

を確認したうえで、「陳情において要望されている内容は概ね理解できるが、人材・財政面の制約や、杉並区に適した施策を丁寧に検討する必要もある」との考えから、「趣旨採択<sup>(\*)1</sup>」としました。

(\*)1)陳情の願意については十分に理解できるが、財政事情等からすぐに願意を実現することが困難な場合などに、「趣旨には賛成である」という意味で行う議決

## 区政の動き

### 義務教育保護者負担軽減のあり方報告

本年5月、区から「杉並区立学校における義務教育保護者負担軽減のあり方について(報告書)」が公表されました。

\* 報告書全文は、右記QRコードから読むことができます。

この中で、保護者アンケート<sup>(\*)3</sup>の結果が示されておりますが、「教育施策で特に必要と思われるものをお答えください(3つまで)」に対する結果は、下記のとおりとなっております。

(\*)3)区立小中学校の児童生徒の保護者あてに実施(令和5年3月)。約2万2,060世帯のうち7,713世帯(35%)からの回答があった。



こうしたアンケート結果にも関わらず、報告書では、「教育委員会として望ましいと考える支援策(公費で負担する必要のある経費)」として、「学校給食費の公費負担(無償化)」を挙げています。

**「杉並らしい教育」「保護者が望む教育環境の向上」を目指すのであれば、区長の選挙公約にこだわった「給食無償化」よりも、「学校に関わる人的措置の充実」こそが求められているのではないのでしょうか。**

子どもの学習面や心理面でのサポートを行うための人的措置の充実	4723
子どもたちに様々な体験を提供できるような取組の充実	3377
義務教育にかかる保護者負担の軽減(所得制限のない一律支援の充実)	3076
学校内外の子どもが安心できる居場所づくりの充実	2876
老朽化した学校施設の整備促進(環境負荷の軽減も含める)	2852
将来に必要なICT環境の充実	2844
義務教育にかかる保護者負担の軽減(所得に応じた援助の充実)	1102

### 指定管理者制度の検証

6月12日(月)、総務財政委員会において、「指定管理者制度<sup>(\*)4</sup>の検証状況について」が報告されました。

\* 報告書全文は、右記QRコードから読むことができます。

この「指定管理者制度の検証」に関しては、昨年12月、令和4年度一般会計補正予算(第7号)に対して、「有識者の人選やアンケート項目の作成に関して公平公正中立な予算執行を行うこと」という付帯決議が議員提案で可決されております。

(\*)4)公の施設をノウハウのある民間事業者等に管理してもらう制度。



議会の意思として「有識者の人選に関しては、公平公正中立に」と議決しているにもかかわらず、指定管理者制度の検証における有識者意見聴取2名のうち1名は、昨年7月(現区長が区長に就任した月)に、区長と80分、区長応接室にて面会をしております。果たしてこの人選が「公平公正中立」といえるのか、私は疑問に感じます。

### 富士見丘多目的広場の設置

6月19日(月)、本会議において「議案第42号杉並区立富士見丘多目的広場条例」が可決されました。

\* 6月9日(金)の文教委員会にて報告された関連資料は、右記QRコードから読むことができます。

これは、富士見丘中学校隣地に新校舎を建設している富士見丘小学校の運動場として、都立高井戸公園の一部を利用できるようにするための規定の整備となります。



**都立公園の一部を小学校の運動場としても活用**するという新たな運用形態ですので、運用開始以降もその状況を注視していきたいと思っております。